

# 第147次製造貨幣大試験について

理財局国庫課長 廣光 俊昭 / 国庫課通貨企画調整室長 勝俣 陽司

平成30年11月5日、独立行政法人造幣局（大阪市北区）において、伊佐財務大臣政務官出席の下、第147次製造貨幣大試験が行われた（執行官：伊佐財務大臣政務官\*1）。

## 1 製造貨幣大試験の意義

貨幣には、一般に流通している1円から500円までの通常貨幣と皇室の御慶事や国際的な行事などを記念して発行する記念貨幣があり、これらは全て「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律」に基づいて、財務省の発注により造幣局が製造している。人々がこれらの貨幣を日常的な買い物などで日々安心して使うためには、貨幣に対する信頼の維持が不可欠である。

貨幣の信頼維持のためには、一つ一つの貨幣の品質が一定していること、また、容易に偽造できないものであることが必要である。なぜなら、貨幣の品質にバラつきがあったり、容易に偽造ができるようであれば、日常の取引の度に本物かどうか確認しなければならないからである。

このため、貨幣の製造を行っている造幣局においては、日々の製造工程の中で、貨幣の量目（重さのこと）のみならず品位・直径・厚さについて厳重なチェックを行っているが、これに加えて、発注者である財務省としても、貨幣に対する信頼維持の観点から、毎年1回、実施日の14日前までに製造された通常貨幣及び記念貨幣の量目が「製造貨幣大試験要領」\*2（以下「大試験要領」）に定められた公差の範囲内にあるかどうかを検査している\*3。これを製造貨幣大試験（以下「大試験」）と呼んでいる。

## 2 大試験の歴史

大試験の歴史は古く、大蔵省（現在の財務省）のもとで造幣寮（現在の造幣局）が操業を開始した翌年の明治5年（1872年）に初めて開催された。明治維新直後の当時、市中には徳川期に発行された量目・品位のまちまちな貨幣や地方の藩札、さらには外国貨幣などが流通し、国内における安定的な経済活動を阻害していたことから、これらを整理し、統一的な貨幣制度を整えることは明治新政府の喫緊の課題であった。このため、政府は、明治4年（1871年）に「新貨条例」を制定し、新通貨の呼称を「円」とすることや一円＝金1.5グラムとすることを定めた\*4。そして、この新たな貨幣に対する信頼を確保するため、造幣寮において、日々行われる製造貨幣の検査とは別に、貨幣が法定のとおり製造されていることを公に示す場として「大試験」を行うこととした。



第72次 執行官：賀屋 興宣（かや おきのり）大蔵大臣（昭和18年12月）

※当時の大試験実施場所は正廳（せいちょう、現在の大会講堂）。

\*1) 製造貨幣大試験は、原則として財務大臣が執行官となって実施するが、今回は公務の都合により伊佐財務大臣政務官が執行官となった。  
\*2) 財務省と造幣局は「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律第4条第2項」に基づき、毎年度貨幣の製造に関する事務に係る契約を締結しており、その仕様書において、大試験要領を規定している。  
\*3) 容易に偽造されないよう、貨幣には、たとえば角度を変えると数字が見えたり隠れたりする加工技術（潜像加工）など、様々な偽造防止技術が盛り込まれている。さらに、造幣局では偽造防止技術の一層の向上のための研究等も行っている。現在盛り込まれている技術の具体的な内容については造幣局ホームページをご覧ください。（[https://www.mint.go.jp/operations/production/technology/technology\\_index.html](https://www.mint.go.jp/operations/production/technology/technology_index.html)）  
\*4) 明治政府は、旧貨幣等と円との交換レートを定める布告も発布した。金札については一両＝一円とし、旧貨幣については、慶長小判、享保小判、天保小判といった種類ごとに、金や銀の含有量（品位）を基準として個別に定めた。



執行官による大試験貨幣の選定



両皿天秤による秤量

### 3 大試験の実施方法

#### (1) 対象貨幣の選定

大試験において量目の秤量試験を受ける貨幣は、大試験用貨幣と呼ばれる。これは、貨幣の種類ごとに、毎日の製造枚数に応じて一定割合（例：通常の500円ニッケル黄銅貨幣の場合、30,000枚又はその端数につき1枚の割合）で抜き取られたもので、一週間分ごとにまとめて袋に封入・保管される。大試験当日、執行官がこの大試験用貨幣の入った袋を開封して試験を実施する。

今回の大試験には、昨年の大試験実施以降に製造された500円、100円、50円、10円、5円及び1円の通常貨幣、小笠原諸島復帰50周年記念1,000円銀貨幣\*5、2020年東京オリンピック競技大会記念10,000円金貨幣（第一次発行分）、東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念1,000円銀貨幣（第一次発行分）、100円クラッド貨幣（第一次発行分）\*6及び明治150年記念1,000円銀貨幣\*7の計11種類（記念貨幣を図柄別（資料1）に換算すると計13種類）の貨幣が試験に供された。

#### (2) 大試験貨幣の秤量

秤量試験は、原則として一定の枚数ごとの集合秤量により行われるが、上記記念貨幣（2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念100円クラッド貨幣を除く。）については1枚ごとに個別秤量が行われた。

集合秤量には大型の両皿天秤を、個別秤量には電子天秤を用いて秤量単位ごとに量目を計測し、計測され



電子天秤による秤量

た量目と法定量目との差が、大試験要領に定められている公差（例：通常の500円ニッケル黄銅貨幣の場合、貨幣1,000枚（7,000グラム）当たり $\pm 13$ グラムの範囲内にあるかどうかを確認する。

秤量結果が公差の範囲内にあることが確認されれば、大試験の対象となった貨幣は、すべて適正に製造されたものと認められる。

#### 4 大試験の結果（確認宣言）

今回の試験結果は、法定量目との差が個別秤量で最大0.03グラム、集合秤量で最大1グラムであり、すべての貨種について基準を満たし、「適正」と認められた。この結果について、執行官である伊佐財務大臣政務官が執行結果確認宣言を行い、大試験は終了した。

\*5) 小笠原諸島復帰50周年（平成30年6月26日）を記念し、1,000円銀貨幣を発行（造幣局における通信販売の申込期間は終了）。

\*6) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を醸成するため、平成30年11月頃から大会開催直前（平成32年7月）にかけて、10,000円金貨幣、1,000円銀貨幣及びその他貨幣（500円・100円）合わせて37種類を4回に分けて発行予定。そのうち、第一次発行分については10,000円金貨幣、1,000円銀貨幣及び100円クラッド貨幣を5種類発行（10,000円金貨幣及び1,000円銀貨幣については造幣局における通信販売の申込期間は終了。100円クラッド貨幣は11月27日から全国の取扱金融機関において額面による引換を実施）。

\*7) 明治150年を記念するため、1,000円銀貨幣を発行（造幣局における通信販売の申込期間は終了）。



執行結果確認宣言



始動ボタンを押す打初め者

## 5 打初め式

今年は、製造貨幣大試験の実施に続き、天皇陛下御在位30年記念貨幣\*8(資料2)の打初め式\*9が造幣局主催により行われた。打初め者として、伊佐財務大臣政務官、

板谷宮内庁長官官房皇室経済主管、川嶋独立行政法人造幣局理事長の3名が当該記念貨幣の打初めを行った。

(参考)  
財務省HP：  
<https://www.mof.go.jp/currency/coin/test/20181108.html>

### 【資料1：第147次製造貨幣大試験の対象（記念貨幣）】

○小笠原諸島復帰50周年記念1,000円（銀）貨幣





(表面)	(裏面)
<p>南島扇池とハジメメグロとムニンヒメツバキ</p>	<p>ザトウクジラとミナミハンドウイルカとアオウミガメ</p>

○2020年東京オリンピック競技大会記念10,000円（金）貨幣（第一次発行分）





(表面)	(裏面)
<p>流鏝馬と心技体</p>	<p>東京2020オリンピック競技大会エンブレム ©Tokyo 2020 ©IOC</p>

\*8) 天皇陛下御在位30年を記念し、10,000円金貨幣及び500円バイカラー・クラッド貨幣を発行（造幣局における通信販売の申込期間は終了。500円バイカラー・クラッド貨幣は平成31年2月頃、全国の取扱金融機関において額面による引換を実施予定）。  
\*9) 打初め式は記念貨幣の製造開始の儀式として実施されており、貨幣の製造技術を披露し、貨幣が新たに製造されたことを広く世間一般に周知することを目的として造幣事業に関係が深い方々や報道関係者を招待し実施されている。

○2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念1,000円（銀）貨幣（第一次発行分）

東京オリンピック競技大会（表面）	東京オリンピック競技大会（裏面）	東京パラリンピック競技大会（表面）	東京パラリンピック競技大会（裏面）
			
水泳	東京2020オリンピック競技大会 エンブレムとソメイヨシノとイチヨウの葉 ©Tokyo 2020 ©IOC	柔道	東京2020パラリンピック競技大会 エンブレムとソメイヨシノとイチヨウの葉 ©Tokyo 2020 ©IPC

○2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念100円（クラッド）貨幣（第一次発行分）

東京オリンピック競技大会（表面）	東京オリンピック競技大会（裏面）	東京パラリンピック競技大会（表面）	東京パラリンピック競技大会（裏面）
			
フェンシング	東京2020オリンピック 競技大会エンブレム ©Tokyo 2020 ©IOC	ボッチャ	東京2020パラリンピック 競技大会エンブレム ©Tokyo 2020 ©IPC

○明治150年記念1,000円（銀）貨幣

（表面）	（裏面）
	
明治初期の鉄道駅の様子と「明治150年」関連施策推進ロゴマーク	明治初期の20円金貨幣の表面紋様

【資料2：打初めを行った天皇陛下御在位30年記念貨幣】

【表面】	【裏面】	【表面】	【裏面】
			
一万円金貨幣	「鳳凰と桐と白樺」	五百円バイカラー・クラッド貨幣	「儀装馬車と桐と白樺」
	「菊花紋章」		「菊花紋章」

製造貨幣大試験年表

回次	実施年月日	試験執行官	
		役職	氏名
第1次	明 5. 5. 13 (新暦 6. 18)	大蔵大輔	井上 馨
第2次	〃 6. 9. 4	大蔵省 三等出仕	陸奥 宗光
第3次	〃 7. 8. 14	大蔵少輔	吉田 清成
第4次	〃 8. 1. 29	造幣権頭	石丸 安世
第5次	〃 8. 6. 29	大蔵卿代理 出納頭	馬渡 俊通
第6次	〃 9. 6. 26	大蔵卿代理 大蔵大丞兼国債頭	郷 純造
第7次	〃 10. 7. 3	大蔵大輔	松方 正義
第8次	〃 11. 6. 25	大蔵卿代理 大蔵権大書記官	与倉 守人
第9次	〃 12. 6. 25	大蔵大輔	松方 正義
第10次	〃 13. 7. 5	大蔵卿	佐野 常民
第11次	〃 14. 6. 29	大蔵少輔	吉原 重俊
第12次	〃 15. 7. 5	大蔵卿	松方 正義
第13次	〃 16. 6. 27	〃	松方 正義
第14次	〃 17. 7. 8	大蔵卿伯爵	松方 正義
第15次	〃 18. 6. 24	〃	松方 正義
第16次	〃 19. 6. 30	大蔵次官	郷 純造
第17次	〃 20. 5. 14	大蔵大臣 伯爵	松方 正義
第18次	〃 21. 7. 21	〃	松方 正義
第19次	〃 22. 12. 5	大蔵大臣代理 大蔵省参事官	成川 尚義
第20次	〃 23. 4. 11	大蔵大臣 伯爵	松方 正義
第21次	〃 24. 10. 23	大蔵大臣代理 国債局長	有島 武
第22次	〃 25. 9. 8	〃	有島 武
第23次	〃 26. 11. 4	大蔵次官	田尻 福次郎
第24次	〃 27. 6. 23	大蔵大臣代理 主税局長	加藤 高明
第25次	〃 28. 12. 16	大蔵次官	田尻 福次郎
第26次	〃 29. 11. 21	〃	田尻 福次郎
第27次	〃 30. 6. 16	大蔵大臣 伯爵	松方 正義
第28次	〃 31. 4. 1	大蔵大臣代理 税務監督局長	添田 寿一
第29次	〃 32. 5. 5	大蔵大臣 伯爵	松方 正義
第30次	〃 33. 6. 30	大蔵大臣代理 主税局長	目賀田 種太郎
第31次	〃 34. 11. 9	大蔵大臣 男爵	曾弥 荒助
第32次	〃 35. 6. 9	〃	曾弥 荒助
第33次	〃 36. 9. 3	大蔵大臣代理 主税局長	目賀田 種太郎
第34次	〃 37. 11. 17	大蔵大臣 男爵	曾弥 荒助
第35次	〃 38. 12. 4	大蔵次官	阪谷 芳郎
第36次	〃 39. 9. 15	大蔵大臣	阪谷 芳郎
第37次	〃 40. 9. 14	〃	阪谷 芳郎
第38次	〃 41. 11. 9	大蔵大臣 侯爵	桂 太郎
第39次	〃 42. 12. 3	〃	桂 太郎
第40次	〃 43. 11. 14	大蔵大臣 公爵	桂 太郎
第41次	〃 44. 12. 18	大蔵大臣代理 関税局長	桜井 鐵太郎
第42次	大 2. 5. 3	大蔵大臣 男爵	高橋 是清
第43次	〃 3. 11. 5	大蔵大臣代理 理財局長	神野 勝之助
第44次	〃 4. 4. 14	大蔵大臣	若槻 礼次郎
第45次	〃 5. 4. 13	〃	武富 時敏
第46次	〃 6. 4. 13	〃	勝田 主計
第47次	〃 7. 4. 30	〃	勝田 主計
第48次	〃 8. 4. 21	大蔵大臣 男爵	高橋 是清
第49次	〃 9. 11. 4	大蔵大臣代理 大蔵省参事官	三土 忠造
第50次	〃 10. 11. 16	大蔵大臣代理 銀行局長	黒田 英雄

回次	実施年月日	試験執行官	
		役職	氏名
第51次	大 11. 11. 24	大蔵大臣	市来 乙彦
第52次	〃 13. 3. 27	大蔵大臣代理 主税局長	黒田 英雄
第53次	〃 13. 11. 25	大蔵大臣	浜口 雄幸
第54次	〃 14. 11. 24	〃	浜口 雄幸
第55次	〃 15. 11. 25	〃	片岡 直温
第56次	昭 2. 11. 28	〃	三土 忠造
第57次	〃 3. 11. 12	〃	三土 忠造
第58次	〃 4. 11. 25	〃	井上 準之助
第59次	〃 5. 11. 24	〃	井上 準之助
第60次	〃 6. 11. 24	〃	井上 準之助
第61次	〃 7. 11. 24	大蔵次官	黒田 英雄
第62次	〃 8. 11. 21	大蔵大臣代理 銀行局長	大久保 偵次
第63次	〃 9. 12. 3	大蔵次官	津島 寿一
第64次	〃 10. 12. 2	〃	津島 寿一
第65次	〃 11. 10. 2	大蔵大臣	馬場 鏡一
第66次	〃 12. 11. 10	〃	賀屋 興宣
第67次	〃 13. 12. 7	〃	池田 成彬
第68次	〃 14. 11. 20	〃	青木 一男
第69次	〃 15. 10. 14	〃	河田 烈
第70次	〃 16. 4. 16	〃	河田 烈
第71次	〃 17. 11. 5	〃	賀屋 興宣
第72次	〃 18. 12. 16	〃	賀屋 興宣
第73次	〃 19. 3. 20	大蔵大臣代理 造幣局長	菅村 道太郎
第74次	〃 20. 4. 23	〃	多田 喜一
第75次	〃 21. 12. 10	〃	国府 種文
第76次	〃 22. 12. 10	〃	国府 種文
第77次	〃 23. 12. 1	〃	前尾 繁三郎
第78次	〃 24. 11. 16	大蔵大臣代理 造幣庁長官	松崎 健吉
第79次	〃 26. 1. 12	大蔵大臣	池田 勇人
第80次	〃 27. 1. 12	〃	池田 勇人
第81次	〃 28. 1. 7	〃	向井 忠晴
第82次	〃 29. 1. 29	〃	小笠原 三九郎
第83次	〃 29. 11. 5	〃	小笠原 三九郎
第84次	〃 30. 10. 28	〃	一万田 尚登
第85次	〃 31. 10. 25	〃	一万田 尚登
第86次	〃 32. 11. 27	〃	一万田 尚登
第87次	〃 33. 11. 17	〃	佐藤 栄作
第88次	〃 35. 1. 18	〃	佐藤 栄作
第89次	〃 35. 10. 11	〃	水田 三喜男
第90次	〃 36. 11. 17	〃	水田 三喜男
第91次	〃 37. 11. 6	〃	田中 角栄
第92次	〃 38. 10. 16	〃	田中 角栄
第93次	〃 39. 10. 28	〃	田中 角栄
第94次	〃 40. 10. 25	〃	福田 赳夫
第95次	〃 42. 3. 6	〃	水田 三喜男
第96次	〃 42. 10. 25	〃	水田 三喜男
第97次	〃 43. 10. 30	〃	水田 三喜男
第98次	〃 44. 11. 20	〃	福田 赳夫
第99次	〃 45. 10. 12	大蔵大臣代理 理財局長	相沢 英之
第100次	〃 46. 10. 13	大蔵大臣	水田 三喜男
第101次	〃 47. 10. 12	〃	植木 庚子郎
第102次	〃 48. 10. 6	〃	愛知 揆一
第103次	〃 49. 11. 6	〃	大平 正芳
第104次	〃 50. 12. 3	大蔵大臣代理 大蔵事務次官	竹内 道雄
第105次	〃 51. 11. 6	大蔵大臣	大平 正芳
第106次	〃 52. 11. 12	〃	坊 秀男
第107次	〃 53. 11. 18 (土)	〃	村山 達雄
第108次	〃 54. 12. 1 (土)	大蔵大臣代理 大蔵事務次官	長岡 實
第109次	〃 55. 11. 29 (土)	大蔵大臣	渡辺 美智雄
第110次	〃 56. 11. 14 (土)	〃	渡辺 美智雄

回次	実施年月日	試験執行官	
		役職	氏名
第111次	昭 57. 10. 2 (土)	大蔵大臣	渡辺 美智雄
第112次	〃 58. 10. 22 (土)	〃	竹下 登
第113次	〃 59. 10. 27 (土)	〃	竹下 登
第114次	〃 60. 11. 9 (土)	〃	竹下 登
第115次	〃 61. 11. 15 (土)	〃	宮澤 喜一
第116次	〃 62. 11. 28 (土)	〃	宮澤 喜一
第117次	〃 63. 11. 12 (土)	大蔵大臣代理 理財局長	足立 和基
第118次	平 元. 11. 18 (土)	大蔵大臣	橋本 龍太郎
第119次	〃 2. 11. 10 (土)	〃	橋本 龍太郎
第120次	〃 3. 11. 16 (土)	〃	羽田 孜
第121次	〃 4. 10. 14 (水)	〃	羽田 孜
第122次	〃 5. 11. 10 (水)	〃	藤井 裕久
第123次	〃 6. 11. 21 (月)	大蔵大臣代理 大蔵事務次官	斎藤 次郎
第124次	〃 7. 11. 29 (水)	〃	篠沢 恭助
第125次	〃 8. 11. 27 (水)	大蔵大臣	三塚 博
第126次	〃 9. 11. 17 (月)	大蔵大臣代理 大蔵事務次官	中村 正三郎
第127次	〃 10. 11. 16 (月)	〃	谷垣 禎一
第128次	〃 11. 11. 15 (月)	大蔵大臣代理 大蔵総括事務次官	大野 功統
第129次	〃 12. 10. 30 (月)	大蔵大臣	宮澤 喜一
第130次	〃 13. 10. 29 (月)	財務大臣	塩川 正十郎
第131次	〃 14. 11. 18 (月)	財務大臣代理 財務副大臣	谷口 隆義
第132次	〃 15. 10. 20 (月)	財務大臣	谷垣 禎一
第133次	〃 16. 10. 25 (月)	〃	谷垣 禎一
第134次	〃 17. 10. 24 (月)	〃	谷垣 禎一
第135次	〃 18. 11. 6 (月)	〃	尾身 幸次
第136次	〃 19. 11. 12 (月)	〃	額賀 福志郎
第137次	〃 20. 12. 5 (金)	財務大臣代理 財務大臣政務官	末松 信介
第138次	〃 21. 10. 15 (木)	財務大臣	藤井 裕久
第139次	〃 22. 11. 22 (月)	財務大臣代理 財務副大臣	櫻井 充
第140次	〃 23. 11. 21 (月)	財務大臣代理 財務大臣政務官	三谷 光男
第141次	〃 24. 11. 12 (月)	〃	網屋 信介
第142次	〃 25. 10. 28 (月)	財務大臣代理 財務副大臣	古川 禎久
第143次	〃 26. 10. 27 (月)	〃	宮下 一郎
第144次	〃 27. 11. 16 (月)	〃	坂井 学
第145次	〃 28. 10. 24 (月)	〃	大塚 拓
第146次	〃 29. 11. 27 (月)	〃	木原 稔
第147次	〃 30. 11. 5 (月)	財務大臣代理 財務大臣政務官	伊佐 進一